

県のデジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進体制

資料 1-①

令和3年4月26日
秋田県DX戦略本部

現状・課題

・生産年齢人口の減少、地域の過疎化、新型コロナウイルス感染症の影響等による「新たな日常」への対応などの課題を解決する上で、デジタル技術の活用は重要な要素であるものの、成果事例は少なく取組範囲も限定的である。

DXの目指す姿

・新しいデジタル技術やデータの活用により、従来の制度や組織のあり方、産業構造の転換などの社会の変革を促し、新しい価値を創出する。

秋田県デジタル・トランスフォーメーション(DX)戦略本部

○本県の各分野におけるDXの推進について、県庁各部署が一体となって施策の推進に取り組むため、設置(R3.4.1)【年間4回程度開催予定】

◇所掌事務

- ・本県のDXに関する基本的な計画に関すること
- ・産業・行政のDXの推進に関すること
- ・その他DXに関する各種施策の推進に関すること

本部長：知事

副本部長：副知事

本部員：知事部局・出納局・教育庁・警察本部の長
危機管理監・デジタル化統括監

秋田県ICT基本計画
2019
(H30～R4)

秋田県DX推進
計画（仮称）
(R4～R7)

秋田県DX戦略本部幹事会

○戦略本部への付議事項についての調整と決定事項の円滑な推進等を図るため、設置(R3.4.1)

幹事長：デジタル化統括監
幹事：知事部局・出納局・教育庁
・警察本部の主管課長等

助言

意見・提案・要望

意見・提案・要望

各分野での公民連携

「秋田デジタルイノベーション推進コンソーシアム」との連携強化
151団体(130企業、4大学等、17自治体)

◇会員からの意見聴取、DXの実装へ向けた検討、支援、実証事業の実施

○部会構成

製造業・サービス業部会

建設部会

行政部会

RPA部会

連携

スマート農業推進チーム・地域スマート農業推進協議会との連携
◇農業分野でのDXの推進

「美の国秋田 i-Construction推進協議会」を通じた公民連携

「i-Academy恋地」との連携
◇建設分野でのDXの推進
(ICT活用モデル工事等)

意見交換

庁内外の若者との連携

【庁内】
県庁若手・中堅職員によるWG

◇行政、地域、産業サービス等の業務へのDX実現方法等について、検討・報告

(庁内のデジタル人材の育成)

助言

【庁外】
民間若手幹部職員等との意見交換

◇秋田デジタルイノベーション推進コンソーシアムに所属する民間業等の若手幹部職員等を選抜し、意見交換を行う

県内高校生の成果報告等

◇県内高等学校のクラブ活動でICT等を活用した学校の課題解決に取り組む高校生等が成果を報告する
(未来のICT人材の育成、県内定着のきっかけ作り)

助言

外部人材の力を活用

- ◇アドバイザー契約、業務委託等により、最新技術の動向や事例等の情報収集
- ◇本県のDX推進施策に対する助言
- ◇ゼネラリスト、分野ごとのプロフェッショナル（数名）を想定

県のデジタル・トランスフォーメーション（DX）の将来像

資料1-②

令和3年4月26日
秋田県DX戦略本部

【行政】 付加価値の高い政策立案・効率的な行政運営

ビッグデータ
データドリブンの政策立案
(県民視点の行政)

市町村業務の標準化・共同化
(行政効率化/コスト低減)

業務BPR・手続きオンライン化
(行政効率化/県民の利便性向上)

テレワークの推進
(遠隔業務/効率化)

DXの推進・環境づくり

キャッシュレス普及

5G/ローカル5G

情報基盤の整備

新たな事業・ビジネスの創出 (収益アップ・コスト削減)

【産業】



デジタル人材育成
(ICT人材不足の解消・社会変革人材づくり)



物流・SCM
(物流効率化)

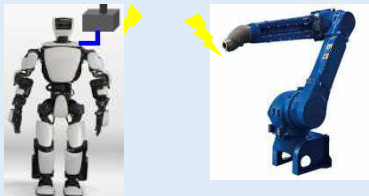


スマート農業
(生産性向上)

IoT・ドローン活用:
業務見える化・無人輸送



デジタル技術・先進技術
の活用(Soc.5.0)



ロボット・RPA:
無人化

建設機械:
遠隔操作

安心・便利な暮らし

【地域・県民生活】



災害レジリエント
(県民の避難・誘導)



遠隔診療・福祉
(医師不足の解消)



Amazon Go
無人コンビニ
(便利な暮らし)



ギガスクール推進
(遠隔授業/教育の高度化)



自動運転・地域交通活性化
(ドライバー・人材不足の解消・
高齢者の移動手段の確保)



高齢者のICT利用促進
(情報格差の是正/家族コミュニケーション)

D X 戦略本部等の役割及び進め方について

資料 1-③

令和3年4月26日
秋田県DX戦略本部

○D X 戦略本部等の役割及び進め方

- ◆D X 戦略本部は、D X 推進計画（仮称）の策定をはじめ、本県のD X 戦略全般について、各部局が一体となって取り組むための推進役となるものである。
- ◆各部局等は、あらゆる業務について、一旦、ゼロベースで見直しを検討し、D X による事業展開や業務改善が行われるよう明確な目標を設定し、その進捗をD X 戦略本部等に報告するなど情報の共有化を図る。
- ◆まずは、多くの成果事例を生み出すよう、スピード感を持って取り組む。
- ◆各部局のデジタル関連事業の実施に当たっては、D X 戦略本部等でその方向性を確認する。
- ◆コンソーシアムやWGなどから提案・要望されたデジタル関連事業については、D X 戦略本部等で検討する。

○スケジュール

会議名	取組事項	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
D X 戦略本部	D X 推進	●D X 推進についての進捗管理、情報共有、指示 ●農林水産部からの報告	●各部局からの報告 民間事業者 ●実践事例の報告	●各部局からの報告 ●事例発表・提言	●各部局からの報告 ●事例発表
	若手WG・アドバイザー			若手WG ●中間発表 アドバイザー ●助言	●提案発表 ●助言
	D X 計画(仮称)		●検討（1回目：骨子案）	●検討（2回目：素案）	●了承（案）
D X 戦略本部幹事会	デジタル関連事業	●各部局のD X の導入による目標・ロードマップの作成指示 ●デジタル関連事業の推進について調整と情報共有	目標・ロードマップ ●進捗状況の確認 事業関連 ●情報共有	●進捗状況の確認 ●情報共有	●進捗状況の確認 ●次年度のデジタル化施策推進についての情報共有
	民間事業者・若手WG・アドバイザー		民間事業者 ●意見交換 若手WG ●提案内容の確認	●意見交換 ●提案経緯の確認	●意見交換 ●次年度課題についての検討
				アドバイザー ●助言	
	D X 計画(仮称)		●検討（1回目：骨子案）	●検討（2回目：素案）	●了承（案）